

公開シンポジウム ～学生・研究者・市民の発表会&交流の場～

霞ヶ浦流域研究2023

2023年

3/5(日)

10:00～15:30

(会議室会場9:30)

参加費無料, 参加登録3/3(金)まで
参加登録はホームページから

(<http://www.cwes.ibaraki.ac.jp/>)

▼ 午前の部 10:00～11:40

- 10:00 開会 中里亮治(茨城大)
- 10:05 霞ヶ浦における多地点流況モニタリングデータの解析 吉田壮汰(茨城大)
- 10:20 地球温暖化による成層の発達及ぼす霞ヶ浦への影響の評価 松本大樹(茨城大)
- 10:35 汽水性二枚貝ヤマトシジミの開閉運動と成長力に対するマイクロプラスチックの影響 三浦七海(茨城大)
- 10:50 高濃度二酸化炭素を用いた汽水性二枚貝ヤマトシジミの石灰化の促進 早川圭亮(茨城大)
- 11:05 帰還困難区域の山地溪流環境における放射性セシウム濃度の推移について 中里亮治(茨城大)
- 11:20 帰還困難区域に生息する溪流魚の放射性セシウム移行メカニズムについて 近藤陸人(茨城大)
- 11:35 福島第一原子力発電所事故に由来する放射性ストロンチウムの小集水域における挙動 荻部甚一(近畿大)

ポスターセッション 12:10～12:50 (コアタイム12:20～12:50)

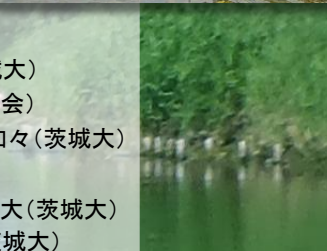
1. 北浦のヨシ帯の経年的な縮小が魚類群集に及ぼす影響 曲子昇(茨城大)
2. 霞ヶ浦流入河川の桜川における国外外来種ダントウボウの食性 大笠登輝(茨城大)
3. 帰還困難区域の山地溪流における藻類の放射性セシウム濃度の季節変化 山本昂成(茨城大)
4. 東京湾内湾臨海部の行徳鳥獣保護区(千葉県市川市)内で確認された水生甲虫目および半翅目 内田大貴(環境指標生物)
5. 東京都立葛西臨海公園鳥類園における水生甲虫目・半翅目およびその特徴 高野季樹(筑波大)
6. 北浦流入河川の雁通川における流下仔魚の季節的出現 小原 迪(茨城大)
7. 東京湾奥における小型魚をめぐる大型肉食魚と魚食性鳥類の相互作用 山川 薫(東邦大)



▼ 午後の部 13:00～15:30

- 13:00 巨大区画水田での乾田直播実証試験 横井沙衣子(茨城大)
- 13:15 霞ヶ浦におけるワカサギ漁獲量の推移とプランクトン動態 石川(石渡)由紀(茨城大)
- 13:30 コウライギギとダントウボウの2022年代の生息状況 萩原富司(土浦の自然を守る会)
- 13:45 霞ヶ浦流入河川「桜川」における国内外来種スゴモロコの生活史特性 渡邊美如々(茨城大)
- 14:00 休憩
- 14:15 涸沼流入河川での絶滅危惧種ウツセミカジカの稚魚の食性と生息環境 柏谷翔大(茨城大)
- 14:30 北浦流域の農業水路における魚類の出現パターンと生息環境特性 浜野 隼(茨城大)
- 14:45 霞ヶ浦のヨシ帯と砂浜における魚類群集構造の比較 浅野泰輝(茨城大)
- 15:00 鹿島灘沿岸砂底域における底生魚類群集の餌利用パターンと季節変動 水木裕翼(茨城大)
- 15:15 閉会 加納光樹(茨城大)

*プログラムには当日の演者のみ記してあります。



主催: 茨城大学地球地域環境共創機構水圏環境フィールドステーション(<http://www.cwes.ibaraki.ac.jp/>)

霞ヶ浦流域フィールドコンソーシアム

問い合わせ先: TEL: 0299-66-6886, E-mail: kasumi.hirayama.rn74@vc.ibaraki.ac.jp 担当: 平山

* 当ステーションは、文部科学省により認定された全国唯一の湖沼の教育関係共同利用拠点です。

